

# 2023年度【全体的な計画】

# ウィズチャイルドさくらがおかこども園

経営理念		幸せを生み出せる環境づくりに全力で取り組む				保育教育方針		誰もが持っているよりよく生きようとする成長願望を伸ばす援助をする(モンテッソーリ教育)		主な年間行事	
保育目標		豊かな個性を持ち愛と品位に満ちた社会の一員を育てる				特色ある保育・教育		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンテッソーリ教育の実践</li> <li>・和食の給食で丈夫な体</li> <li>・自然を愛し、よく歩くこども</li> <li>・豊かな日本語教育と挨拶の重視</li> </ul>		春の集い よもぎ団子づくり、とうもろこしの育成 じゃが芋掘り、さつま芋掘り、おもちつき、たき火で焼き芋、遠足	
各年齢毎の保育目標	乳児	安定と信頼を基本に、秩序のある環境の心地よさを知る。				3歳児	年上のこどもからの学びを喜びとしながら、意思どおり自分を表現できる。				クリスマスの飾りつけ 卒園を祝う会
	1歳児	日常生活の動きの繰り返しの中から安心と意欲の芽生えが育つ。				4歳児	異年齢と生活する中で思いやりと尊敬の念が育ち、知的興味が拡大する。				長時間保育配慮
	2歳児	感覚の敏感期に応え、整えられた環境の中で集中する喜びを知る。				5歳児	仲間と得られた達成感が自信につながり周囲との関わりから自律の心が育つ。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝の環境、夕方以降の環境づくりを大事にし、それぞれの時間帯でメリハリのある充実した時間が過ごせるよう配慮する。</li> <li>・少人数ならではの環境設定に配慮する。</li> <li>・夕食、補食の提供、特に口頭での伝達を重視し保護者の不安をなくす。</li> <li>・家庭的なあそびを大切にする。</li> </ul>
保育の内容											
乳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
養護	生命の保持	養護	生命の保持	保育士との信頼関係を構築する。	食事・排泄・睡眠が意欲的に出来るよう環境構成に気を配る。	食事・排泄・睡眠の自立のほか、鼻をかむ、手を洗う等の衛生面に気づかせる。	汗をかいたり、寒気がしたりする体調管理に気づき訴える事の重要性を知らせる。	健康維持又は感染予防などの対策に積極的に関わられるよう指導する。	保護者の気持ちに寄り添い、利用への安心と本質的満足の提供を使命とし、チームで意識改革、行動改革を成す。 ・連絡ノートをもれなく確認し、こまめな返信を大切にする。朝の受入れ時とお迎え時に玄関対応の職員を配置し、安心感のある手厚い送迎対応に心がける。 ・コロナ対応を終了し、園内へ入りやすい環境に戻し、保護者同士や職員との交流の機会を日常に増やす。 ・保護者会や保育参加のリアル開催と回数の充実 ・第三者評価の実施。 ・たすく株式会社や市の発達支援室などのサポートを受けながら、個別の発達相談を充実させる。 ・保育所の利用相談		
	情緒の安定		情緒の安定	保育士とのスキンシップを通して安心感を育てる。行動の表現から気持ちをくみとる。	自分でやりたいという意欲を受容しながら自立の援助をする	自己選択活動を通して自分の気持ちを自由に表現できるよう環境を整える。	多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする。	友達関係や年長児としての心の揺れ動きに配慮し、穏やかに生活できるよう心がける。			
健やかに伸び伸びと育つ	健康	人間関係	健康	歩行の確立に向け身体をぞんぶんに動かすことを好む。	戸外でのびのび体を動かす喜びを味わう反面、細やかな身体の動きにも興味を示す。身支度を自分でしようとする。	身の回りを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする。	集団としての運動や、ゲーム性のある遊びに興味を示す。	自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。			
			環境	好きな音具や遊具に興味を持って関わり様々な遊びを楽しむ。	自然と触れ合う中で好奇心や探究心が生まれてくる。	身近な動植物に親しみを持ち世話をすることで生命の尊さに気づく。	身近な環境に自分から関わり意欲的に活動する。	自然などの身近な事象に関心を持ち遊びや生活に取り入れようとする。			
身近な人と気持ちが通じ合う	教育	言葉	言葉	保育士の言葉を真似たり、片言で気持ちを表現できる。実物に近い絵による絵本の読みかかせを楽しむ。返事が出来ることを喜ぶ。	挨拶や返事等コミュニケーションの基礎になる言語活動を楽しむ。絵本をよんでもらうことをうれし楽しむ。	友達に意思を伝えたり友達の話を聞いたり会話が成り立つ。素話を聞いたり読みかかせを楽しむ。	簡単な文字を書いたり読んだりすることに興味を持つ。素話に聞き入る。	文字で表現することで様々な文化活動が広がる喜びを知る。かなり長い素話を聞く事ができる。俳句や詩を楽しむ			
身近なものとの関わり感性が育つ			表現	保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたりリズムに合わせて体を動かして遊ぶ。	ピアノに合わせて歌ったり、リズムに合わせて表現したり粘土や紙で自由に制作することをたのしむ。	いろいろな素材で形を表現したり、音楽に合わせて歌ったりすることを楽しむ。	いろいろな素材で自由に絵を描いたり、素材で物を作ったりリトミックを楽しむ。	手を使って出来る様々なものづくりに挑戦する。刺繍やハンドベルの演奏等を楽しむ。			
食育	食育	食育	食育	手づかみやスプーンを使って自分で食べることを喜ぶ。	友達と食べる事を通して食事の楽しさを知る。	献立の中にある食材に興味を持って食べる。	食事が体を作るためにどれだけ大切かを知る。	畑の収穫物の育ちや料理活動を通して食育に関する興味を育つ。			
衛生管理			定期害虫駆除・水質検査・毎月職員検便・年1回健康診断・インフルエンザ予防接種(職員)衛生推進者を置く。				健康支援	常時看護師による相談・身体測定・健康診断・歯科検診		小学校との連携	
安全対策	毎月避難訓練・交通安全教室・歩道を手をつないで歩く。横断歩道をわたる。公共交通機関を使ってみる。散歩時緊急連絡訓練				事故防止	ヒヤリハット・事故簿の確認 ケガの想定訓練や不審者訓練など。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣小学校と協力して学校見学</li> <li>・保育要録送付</li> </ul>			
社会的責任		人権尊重		説明責任		個人情報保護		苦情解決		研修計画	
認証保育所は事業の公共性の高さに鑑み児童福祉施設としての倫理観に基づいて保育サービスを提供する責任がある。		児童福祉法・児童憲章などを元に子どもの人権を尊重する。利用者、職員に人権、信条等により差別的扱いをしたり信条等を強制したりしてはならない。		近隣関係・保護者のみならず入所の案内の折にもパンフレット等を利用し保育所の役割と内容は詳しく説明する義務がある。		保育所で得た個人情報は個人情報保護法により外に漏らしてはならない。虐待防止については発見したら通告義務がある。		施設長の指示の元、解決した事を書面にし学びにつなげる。多摩市オンブズマン制度へ加入。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員個別研修</li> <li>・自園研修発表</li> <li>・モンテッソーリ教師資格取得支援</li> <li>・保育士資格取得支援</li> </ul>	